

四万十市文化複合施設（仮称）
整備に関する提言書

令和3年3月

四万十市文化複合施設整備検討委員会

令和3年3月2日

四万十市長 中平 正宏 様

四万十市文化複合施設整備検討委員会
委員長 岡村 健志

四万十市文化複合施設（仮称）整備について（提言書）

四万十市長からの委嘱を受け、平成30年6月1日に発足した四万十市文化複合施設整備検討委員会（以下「委員会」という。）では、四万十市文化複合施設（仮称）（以下、「複合施設」という。）の整備や管理運営に関し、平成30年度には「基本計画」、平成31（令和元）年度には「管理運営基本計画」及び「基本設計」について議論を行いました。

本年度は、昨年度策定された「管理運営基本計画」及び「基本設計」をさらに具体化していく「管理運営実施計画」及び「実施設計」について、市民ワークショップや団体ヒアリング、パブリックコメント等での市民の意見を踏まえ、4回の整備検討委員会を行いました。

その検討結果を踏まえ、今後の施設整備や管理運営の検討に際し活かしていただきたく、下記のとおり提言します。

複合施設が、幡多地域の文化の拠点として四万十市らしさのある活気がみなぎる施設となるよう、今後も開館に向け市民とともに取り組んでいくことを期待します。

記

1 管理運営実施計画に関する提言

【事業計画に関する提言】

年間事業計画は素晴らしい内容ですが、財政面や人員体制等運営面にも留意が必要ですので、この事業計画を将来の目標として、中長期計画の中で、年度ごとに重点的に実施する事業を絞りながら、段階的・発展的に実施していくことが望ましいと考えます。

また、四万十市では多くの文化団体・人材が活動しているにもかかわらず、これまではその活動が広く知られていませんでした。複合施設では、このような活動が広がり施設の賑わいにつながるよう、既存の広報だけでなく新たな媒体も利用しながら、活動している団体や人材を紹介する等、四万十市らしさを発信していくことが大事だと考えます。

さらに、これらの事業や広報の実施にあたっては、市民参加による官民協働の取り組みを推進していくことを期待します。

様々な事業を実施することで、既存の活動をさらに発展させていくとともに、新たに文化活動を始める人・参加する人が生まれ、活動を通じて地域や世代間での交流の促進につながるよう、事業展開していくことを提言します。

【施設利用計画に関する提言】

施設使用料については、団体ヒアリングで提示した案は全体的に高く、施設の利用促進という観点から、利用しやすい料金設定となるよう再考を望みます。

また、使用料の減額・免除については、受益者負担原則の考え方はありますが、公益上必要な取り組みなど特別な場合には適用すべきだと考えます。なお、減額・免除の適用にあたっては、特定の団体や実績のある団体のみが優遇されないよう、公平性を重視した新たな規定を作っていく必要があると考えます。

既存施設では、利用の申し込みや使用料の支払いに際し直接施設へ出向く必要があり、不便でした。複合施設では、WEBで手続きが出来るなど利便性の向上を望みます。

以上を踏まえ、市民の活動や交流が活発に行えるよう、柔軟で利便性が高い施設運営を目指すことを提言します。

【施設運営計画に関する提言】

複合施設の運営母体を指定管理者とする場合、生涯学習活動などの公民館機能において、市の方針に沿った適切な取り組みが出来るのか、市と指定管理者との意思疎通という点を含め課題があるように思います。また、指定管理者の場合、市民の意見が届きにくくなることを懸念する声もあります。そのため、利用者会議（仮称）をはじめ、市民参加による運営を目指すとともに、市と指定管理者が一体となって取り組むよう提言します。

また、現在コロナ禍の影響もあり当初は使用料金制とする計画ですが、競争原理や工夫等の経営努力を促せるよう、利用料金制への移行も視野に入れ検討するよう提言します。

【施設管理計画に関する提言】

複合施設では、適切な職員配置を行い、中長期的な計画のもと、適切な維持管理に努めることを望みます。維持管理の一部を業務委託する場合でも、適切に行うための業務基準は市が定め、それを示すことが重要です。

また、将来的な施設の大規模改修を見据え、一度に多額な経費がかからないよう、計画的に改修及び修繕を行っていくことも重要です。

以上を踏まえ、施設や設備が備える機能を安全で安定的に発揮し続けられるよう、施設の維持管理や安全対策に取り組むよう提言します。

【収支計画に関する提言】

収支計画において、支出が収入を大きく上回る見込みですが、施設の使命を果たすためには、市の負担は文化投資として捉え、必要な事業に取り組むとともにそれに伴う運営体制を整備する必要があります。ただし、厳しい財政状況下では、経費縮減や

助成金等外部資金導入を目指すことも重要です。

また、他施設においては、大規模改修に莫大な経費がかかっている事例もあることから、ライフサイクルマネジメントの考え方に則った中長期的な更新計画のもと財政的な見通しを立てていく必要もあります。

以上を踏まえ、限られた財源を有効に活用できるよう、収支計画については今後さらに精査していくよう提言します。

【開館準備業務に関する提言】

開館準備業務に関しては、スムーズに開館出来るよう、開館までのスケジュールや市と指定管理者との役割分担等を整理し、プレ事業をはじめとした関連業務に取り組む必要があります。

また、市民参加の取り組みを推進していくうえでは、開館準備の段階から市民組織を立ち上げていくことも必要です。

令和3年度以降、開館記念事業等について詳細な検討をしていくうえでも、市民意見が反映されるようしっかりとした業務推進体制を確立し、進めていくことを提言します。

2 実施設計に関する提言

実施設計については、令和元年度に実施された公聴会や本年度実施された市民ワークショップでの意見を踏まえた楽屋や備品庫等大ホール周りの配置の変更や諸室の仕様等について説明を受けました。

実施設計は、基本設計の内容を詳細にしていくものであることから、委員会では、ひとつひとつ細部まで協議はしていませんが、重要な案件と思われる緞帳について、十分な議論をせずに引割昇降緞帳を採用する計画としていたことには疑問が残りました。

緞帳に関しては、特に和物を演じる方から本緞帳を要望する声が強くあがっています。そのため、それぞれの緞帳のメリット・デメリットについて、他施設の事例なども参考にもう一度整理し、施設を利用する団体等のご意見も踏まえ、採用する緞帳について再検討するよう提言します。

また、大ホールの前舞台迫の設置については、委員会内部で賛否両論の意見がありました。

迫については、演劇や演奏会等で利用の可能性が広がる一方で、それだけの需要があるのかなど、イニシャル・ランニングコスト等も含め費用対効果を懸念する声もありました。そのため、設置する以上は、この迫が有効に利用されるよう事業の企画等運営面でも工夫しながら取り組むことを提言します。

本年度策定した実施設計を基に、今後は備品設計に取り組むことと思いますが、今後も市民や利用者のニーズを踏まえ、専門的な立場からの助言もいただきながら、検討を進めるよう提言します。

令和2年度四万十市文化複合施設整備検討委員会の経過

- 令和2年7月27日 第1回四万十市文化複合施設整備検討委員会
- ・委員長及び副委員長の選任
 - ・今年度の整備検討委員会の議題とスケジュール
- [実施設計について]
- ・市民公聴会でいただいたご意見と実施設計の最新状況について
 - ・実施設計スケジュール
 - ・市民ワークショップの報告
- [管理運営実施計画について]
- ・管理運営実施計画全体構成案と整備検討委員会での議題
 - ・管理運営実施計画（案）について（四万十市文化複合施設（仮称）整備にあたって、事業計画）
 - ・団体ヒアリングの実施について
- 令和2年10月2日 第2回四万十市文化複合施設整備検討委員会
- ・前回議事要旨の確認
- [管理運営実施計画について]
- ・管理運営実施計画（案）修正について（広報活動計画）
 - ・団体ヒアリングの報告
 - ・管理運営実施計画（案）について（施設利用計画、施設管理計画）
- 令和2年11月30日 第3回四万十市文化複合施設整備検討委員会
- [管理運営実施計画について]
- ・前回議事要旨の確認
 - ・管理運営実施計画（案）の修正について（事業計画、施設利用計画、施設管理計画）
 - ・管理運営実施計画（案）について（施設運営計画、収支計画、開館準備業務、その他）
- 令和3年2月8日 第4回四万十市文化複合施設整備検討委員会
- [管理運営実施計画について]
- ・前回議事要旨の確認
 - ・パブリックコメント実施の報告
 - ・管理運営実施計画（最終案）について
 - ・提言書（案）について
- [実施設計について]
- ・市民ワークショップの報告
 - ・実施設計図書の説明
 - ・提言書（案）について

四万十市文化複合施設整備検討委員会委員名簿

(令和3年3月2日現在)

役職	氏名	所属	備考
委員長	岡村 健志	高知大学	准教授
副委員長	谷田 洋子	四万十市文化協会中村支部	支部長
委員	石川 真紀	四万十市立小学校音楽主任会	代表 (蕨岡小学校校長)
〃	柳川 安代	NPOなかむら音楽振興会	事務局長
〃	久保 美保	中村こども劇場	運営委員長
〃	谷口 雄司	(有)ゴクローサン	代表取締役
〃	林 大介	公民館等運営審議会	会長
〃	山本 工	ハイクラソーナ・ウインド・アンサンブル	代表
〃	杉内 正	写団「四万十」	会長
〃	本田 三津代	四万十川こども演劇祭実行委員会 ((元)働く婦人の家運営委員会)	副委員長 ((元)運営委員長)
〃	今城 久枝	西土佐穂太鼓	代表
〃	竹田 元久	右山北区	区長
〃	武田 正	高知県農業協同組合	組合員
〃	地曳 克介	中村商工会議所	専務理事
〃	廣瀬 あさ子	中村商工会議所 女性会	会員
〃	青木 孝寿	中村青年会議所 シニアクラブ	会員
〃	寺田 悦子	中村青年会議所 シニアクラブ	会員
〃	原田 英樹	H i y o k o m a m e	代表